

平和を希求する心を育てる取組

報告年月日 平成30年10月23日
 都市名・国 愛知県尾張旭市

| | |
|--|--|
| 取組の名称 | 被爆体験「語り部」講演会 |
| 実施主体 (該当項目に✓) | <input type="checkbox"/> 学校 <input checked="" type="checkbox"/> 自治体 <input type="checkbox"/> NGO <input type="checkbox"/> 複合 () |
| テーマ・目的 | 核兵器の恐ろしさと恒久平和の大切さを伝える(例:核兵器廃絶、テロ、暴力など) |
| 対象者 (年齢・学年、人数等) | 中学生(700~900名) (例:12歳の子ども60名、保護者や市民30人など) |
| 実施場所 | 市内中学校 |
| 実施期間 | 年 月 日 ~ 年 月 日 (日間) 年に1度中学生を対象に実施(市内3中学校のうち毎年1中学校毎に実施) ※定期的に行う取組は、その旨を記入し、いつから、どれくらいの頻度で実施しているかを報告してください。 |
| <p>取組の概要(授業、イベントはプログラムの次第を、その他(例:コンテスト等)はそのプロセスを、具体的に記入してください。)</p> <p>「尾張旭市非核平和都市宣言」の趣旨に基づき、中学校の授業時間に被爆者の方に被爆体験を語っていただくことで、次世代を担う中学生に戦争の悲惨さ及び核兵器の恐ろしさを風化させることなく、恒久平和の大切さを伝える。</p> | |
| <p>参加者の反応</p> <p>核兵器の恐ろしさ、戦争の悲惨さを実体験を基に聞くことでその恐ろしさが想像以上であったこと、初めて知るようなこともあったこと。また、今、当たり前のように生きていることが平和であり、大切なことであることが分かったという感想が多くあった。</p> | |
| <p>成果</p> <p>戦争・核兵器の恐ろしさを知り、平和を願う気持ちが見られた。</p> | |
| <p>課題</p> <p>今後、被爆者の高齢化により現状のように実体験を聞くことがいつまで続けられるか。</p> | |
| <p>取組で使用した素材について(図書、映像、パワーポイントなど。内容をわかりやすく簡潔に記入してください。)</p> <p>パワーポイント。</p> | |
| <p>上記素材の共有の可否(取組で使用した素材を、平和首長会議のWEBサイトに掲載し、他都市と共有することに、著作権その他の問題がないか、次からお選び下さい。)</p> <p><input type="checkbox"/>掲載可能(素材を添付してください) <input type="checkbox"/>掲載不可 <input checked="" type="checkbox"/>不明</p> | |

※ 画像等の資料がある場合は別ファイルで提出してください。